

講義科目名称： 看護管理学援助論 I

授業コード： 6630100200

英文科目名称： Nursing Administration I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎伊豆上 智子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 通年</p> <p>【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎伊豆上 智子</p> <p>【所属】 新潟県立看護大学</p> <p>【本学の科目区分】 専門分野</p>
------	--

到達目標	<p>組織の構造と機能にかかわる主要概念や基本理論を学び、看護組織の特徴を説明できる。</p> <p>組織の中の個人と集団にかかわる主要概念や基本理論を学び、看護組織の人材フローシステムを含む人的資源管理の特徴を説明できる。</p> <p>看護組織や人的資源のマネジメントに焦点を当てて文献検討を行い、研究課題を示すことができる。</p>
------	---

授業概要	<p>組織と組織を構成する人間にかかわる主要概念や基本理論を学び、看護組織と人的資源のマネジメントについて理解を深める。</p> <p>学生が文献検索を行って示すテーマについて討論し、研究関心に沿って文献検討を重ねながら、看護組織と人的資源のマネジメントにかかわる研究課題を探る。</p>
------	--

授業計画	<p>1 授業内容          授業形態：講義          学習課題：ガイダンス          学習内容：・科目の到達目標と授業概要、成績評価の方法と基準について理解する          備考：伊豆上</p> <p>2-3 授業内容          授業形態：講義 討論          学習課題：組織管理論(1) 組織の構造と機能          学習内容：・組織論概説、組織理念、集団と組織、組織構造の設計          ・学生が提示するテーマの討論(1)          備考：伊豆上</p> <p>4-5 授業内容          授業形態：講義 討論          学習課題：組織管理論(2) 組織の発達と組織文化          学習内容：・組織の発達とライフサイクル、組織文化とは何か          ・学生が提示するテーマの討論(2)          備考：伊豆上</p> <p>6-7 授業内容          授業形態：講義 討論          学習課題：組織管理論(3) 組織の变革          学習内容：・組織变革のタイプと実践プロセス、組織分析          ・学生が提示するテーマの討論(3)          備考：伊豆上</p> <p>8 授業内容          授業形態：発表          学習課題：課題プレゼンテーション(1)          学習内容：・文献検討結果に基づく研究課題の検討経過の発表          備考：伊豆上</p> <p>9-10 授業内容          授業形態：講義 討論          学習課題：人的資源管理論(1) 組織の中の個人          学習内容：・個人の行動、パーソナリティ、動機づけ、個人の意思決定          ・学生が提示するテーマの討論(4)          備考：伊豆上</p> <p>11-12 授業内容          授業形態：講義 討論          学習課題：人的資源管理論(2) 組織の中の集団          学習内容：・集団の行動、コミュニケーション、リーダーシップ、パワー          ・学生が提示するテーマの討論(5)          備考：伊豆上</p> <p>13-14 授業内容</p>
------	---

	<p>授業形態：講義 討論          学習課題：人的資源管理論(3) 人材フローシステムと運用          学習内容：・組織の人材フロー、人材育成とキャリア開発、業績の評価と報酬          ・学生が提示するテーマの討論(6)</p> <p>備考：伊豆上</p> <p>15          授業内容          授業形態：発表          学習課題：課題プレゼンテーション(2)          学習内容：・文献検討結果に基づいて検討した研究課題の発表          備考：伊豆上</p>
事前・事後学習	<p>事前学修：各回講義資料に次回講義までの事前学修課題を指示する。          事後学修：講義時の学修内容を振り返り、各自の看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。</p>
評価方法、評価基準	<p>討論の準備状況と参加度 30%、課題プレゼンテーション 30%、レポート 40%による評価を行う。</p>
テキスト	<p>スティーブン P. ロビンス. (2005/2009). 高木晴夫(訳). 新版 組織行動のマネジメント 入門から実践へ. ダイヤモンド社.</p>
参考図書・資料等	<p>入山章栄. (2020). 世界標準の経営理論. ダイヤモンド社.          金井壽宏. (2005). リーダーシップ入門. 日本経済新聞社.          中原淳, 中村和彦. (2018). 組織開発の探究: 理論に学び、実践に活かす. ダイヤモンド社.          上記の他、講義内容に応じて紹介する。</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>講義資料は適宜配布する。討論テーマの提示、課題プレゼンテーション、レポートの課題と作成要領は授業中に説明する。</p>
教員からのメッセージ	<p>討論を通じて自らの研究関心を確認するとともに、討論の概要を自分なりに整理して考えをまとめ、研究課題の明確化を図りましょう。</p>
オフィスアワー	